

新年度予算案 財政局案を発表（1月8日）

天守閣より、福祉・防災・くらしを優先に

約1兆円の予算のうち 経常的予算以外の934億円を計上

1月8日、新年度予算の各局要求に対する財政局の案が示されました。財政収支見通しで留保財源とされた一般財源70億円を使った「政策的な判断が必要な事業」として各局から要求された1089億円の事業（うち一般財源129億円）を財政局が精査。事業費934億円（一般財源50億円）に絞られました。

今後、財政局案で未計上となった一般財源20億円の活用も含めた市長査定が行われ、2月5日に予算草案が示される予定です。財政局案は、名古屋市のホームページに公表されています（トップページに紹介あり）。

奨学金返済助成制度が未計上に スクールカウンセラー増員なども同様

財政局案では各局が要求した予算に対し、①要求通り認める ②内容精査して認める ③局に配分された予算で対応すれば認める ④現時点では未計上、の4区分をしています。

主な内容を見ると、議会広報費はこれまでと同様に市長判断に任せる「保留」に。市民の関心の一つとなっている奨学金返済支援（大学生の中小企業への定着支援500万円を含む）は財政局案では未計上でした。その

他、避難所の給排水機能確保策の調査（1000万円）や名古屋城魅力向上推進（1000万円）、スプレー缶水排出方法の変更（2200万円）。難病対策の推進（8000万円）、胃がん検診の拡充（1億3000万円）、弥富相生山線周辺の交通調査等（3400万円）、スクールカウンセラーの拡充（1800万円）、学校トイレさわやか改修（3600万円）など、財政局が未計上にした事業数は59件です。

また、料金改定としては金城ふ頭駐車場や有料自転車駐車場の見直し、みどりが丘公園墓地使用料の値上げなどが見込まれていますが、保育料などの値上げは予算要求からは見送られています。

ムダな事業にこそ削減のメスを

予算編成過程の公開は一般会計予算全体（約1兆円）の1割（約1,000億円）程度の公開だけです。経常経費をはじめ、高速道路関連事業や空港関連事業など継続事業や既定路線など大部分の予算は2月5日の予算草案で示されます。

その他に、局配分の予算で実施される新規・拡充事業には27億円（一般財源17億円）で35項目（参院選と市長選に6億円をはじめ、病児・病後児デイケアの拡充、高坂荘の一部を若者向けに改修など）が示されました。

一般会計の収支見込み(億円)
2015年9月現在

区 分		2015年度 予算	2016年度 見込み
歳入	市税	5,001	5,025
	5%減税額	△ 116	△ 115
	市債	706	706
	その他	5,016	4,995
	計	10,723	10,726
歳出	人件費	1,675	1,676
	扶助費	2,886	2,921
	公債費	1,339	1,318
	投資的経費	862	950
	その他	3,961	3,944
	計	10,723	10,809
差引収支		-	△ 83

政策的な判断が必要な臨時・政策経費（単位：億円。括弧書きは一般財源）

区分	2015年度 予算額	2016年度 要求額	2016年度 財政局案	財政局の考え(事業数)			
				①	②	③	④
会計室	- (-)	1.4 (1.4)	1.1 (1.1)	-	1	-	-
防災危機管理局	3.0 (0.2)	6.8 (1.3)	5.2 (0.6)	2	9	1	5
市長室	- (-)	- (-)	- (-)	-	-	-	-
総務局	7.0 (3.2)	18.0 (6.6)	15.5 (4.2)	1	4	4	1+4
財政局	35.1 (1.9)	28.6 (0.9)	25.6 (0.2)	5	4	1	-
市民経済局	780.6 (9.6)	779.6 (20.4)	756.5 (6.9)	3	36	16	15
環境局	1.6 (0.5)	9.8 (8.6)	1.4 (0.6)	-	6	8	2
健康福祉局	60.6 (11.7)	46.0 (24.8)	27.0 (11.8)	2	14	11	5
子ども青少年局	22.5 (5.1)	40.7 (16.1)	36.8 (11.3)	5	9	6	5
住宅都市局	21.7 (8.3)	47.6 (14.3)	18.8 (6.8)	9	10	3	3
緑政土木局	20.3 (5.0)	32.9 (12.2)	20.0 (3.1)	-	3	2	4
消防局	8.6 (1.7)	10.7 (3.4)	7.5 (1.7)	1	8	1	2
教育委員会	130.8 (24.0)	67.0 (19.2)	18.5 (1.4)	1	11	22	17
合計	1,092.4 (71.6)	1,089.6 (129.8)	934.4 (50.2)	29	115	75	59+4



- ・各局に配分される経常経費などの予算とは別枠。
- ・収支見通しで保留した70億円の一般財源が財源。
- ・財政局案の段階で市長査定用に20億円が残っている。

- ①要求通り認める
- ②精査して認める
- ③局の予算で対応を
- ④認めない（総務の4は保留）